

アンケート調査

アンケート調査の目的

この調査は、市民や小中学生、市内への通勤者、事業所が、現在の甲府市をどのように捉え、またどのようなまちづくりを望んでいるのかなどについて、意見や考えを聞き、第七次甲府市総合計画の策定や今後の市政運営の基礎資料とするために実施しました。

アンケート調査の概要

	調査名	概要	対象者数	回収数 (回収率)
1	市民調査	市内にお住まいの中学校3年生を除く15歳以上の方(2,000人)を無作為に抽出。郵送及びWebによる回答。	2,000人	590 (29.5%)
2	小学生・中学生調査	市立の小中学校の協力のもと、小学校4年生から中学校3年生までを対象に実施。Webによる回答。	7,100人 (小学生3,496、 中学生3,604)	5,310 (小学生2,902、 中学生2,408) (74.8%)
3	通勤者調査	市内に所在する商工会議所議員事業所の協力のもと、市内への通勤者を対象に実施。郵送及びWebによる回答。	600人	420 (70.0%)
4	事業所調査	市内に所在する商工会議所議員事業所を対象に実施。郵送及びWebによる回答。	92事業所	52 (56.5%)

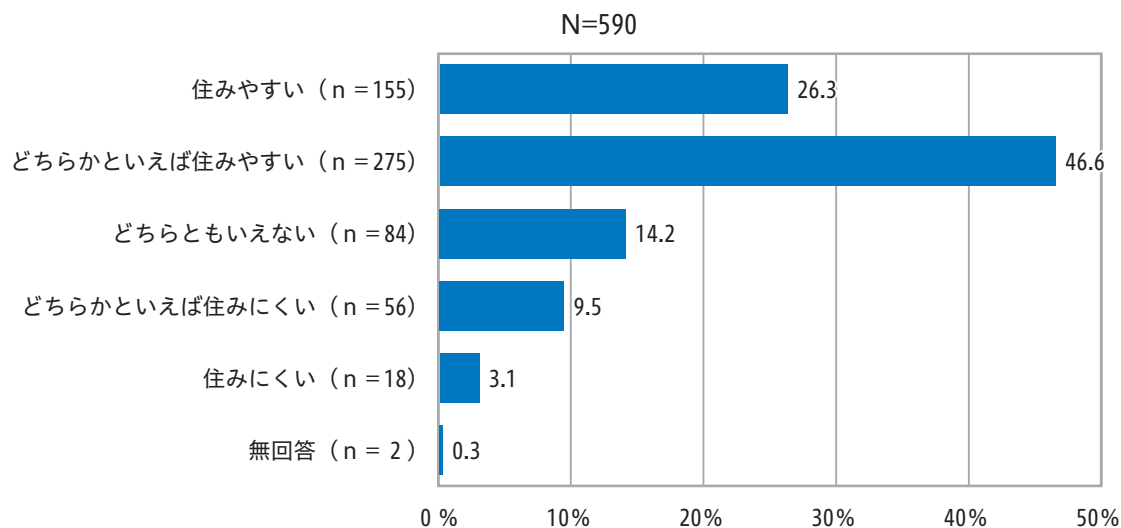
詳しいアンケート調査結果はこちらからご覧いただけます



調査結果（抜粋）

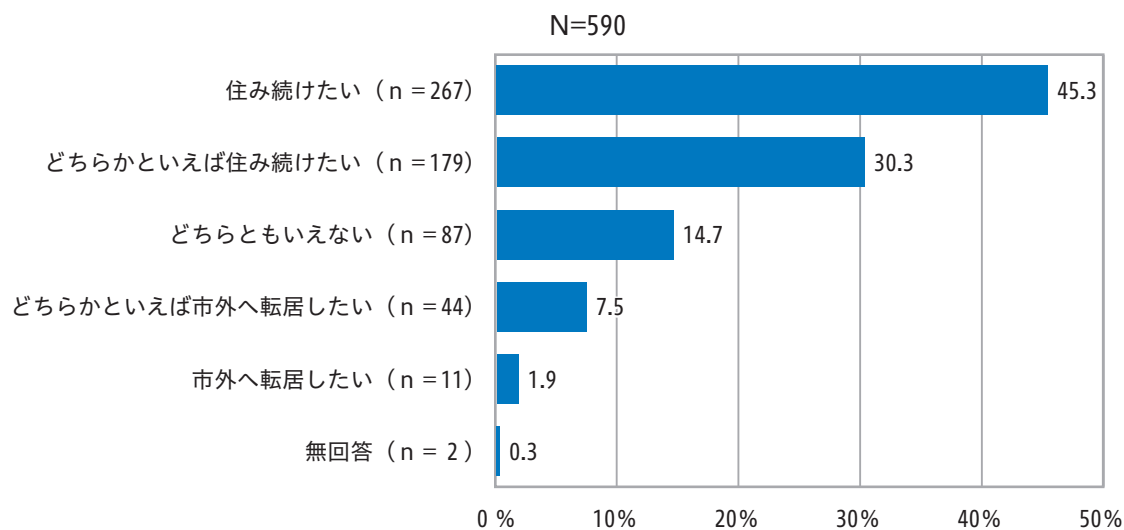
（1）甲府市の住みやすさ（市民調査）

甲府市を住みやすいと感じている層（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）が70%を超えています。



（2）今後の居留意向（市民調査）

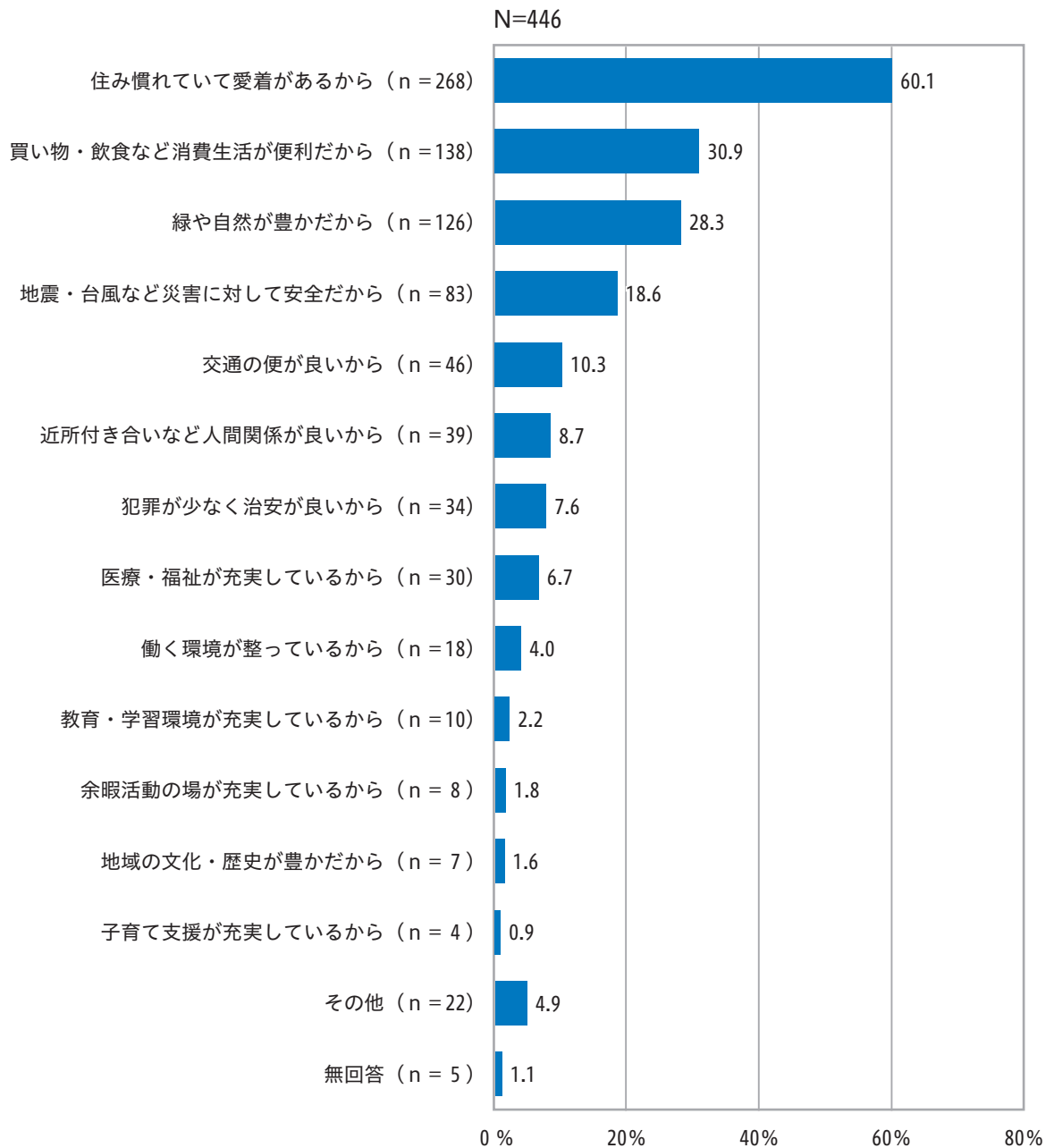
これからも甲府市に住み続けたいと思う層（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）が70%を超えています。



※Nは当該調査の回収数、nは各選択肢に対する回答数を表しています。

(3) 住みたいと思う理由（市民調査） ※複数（2つまで）回答可

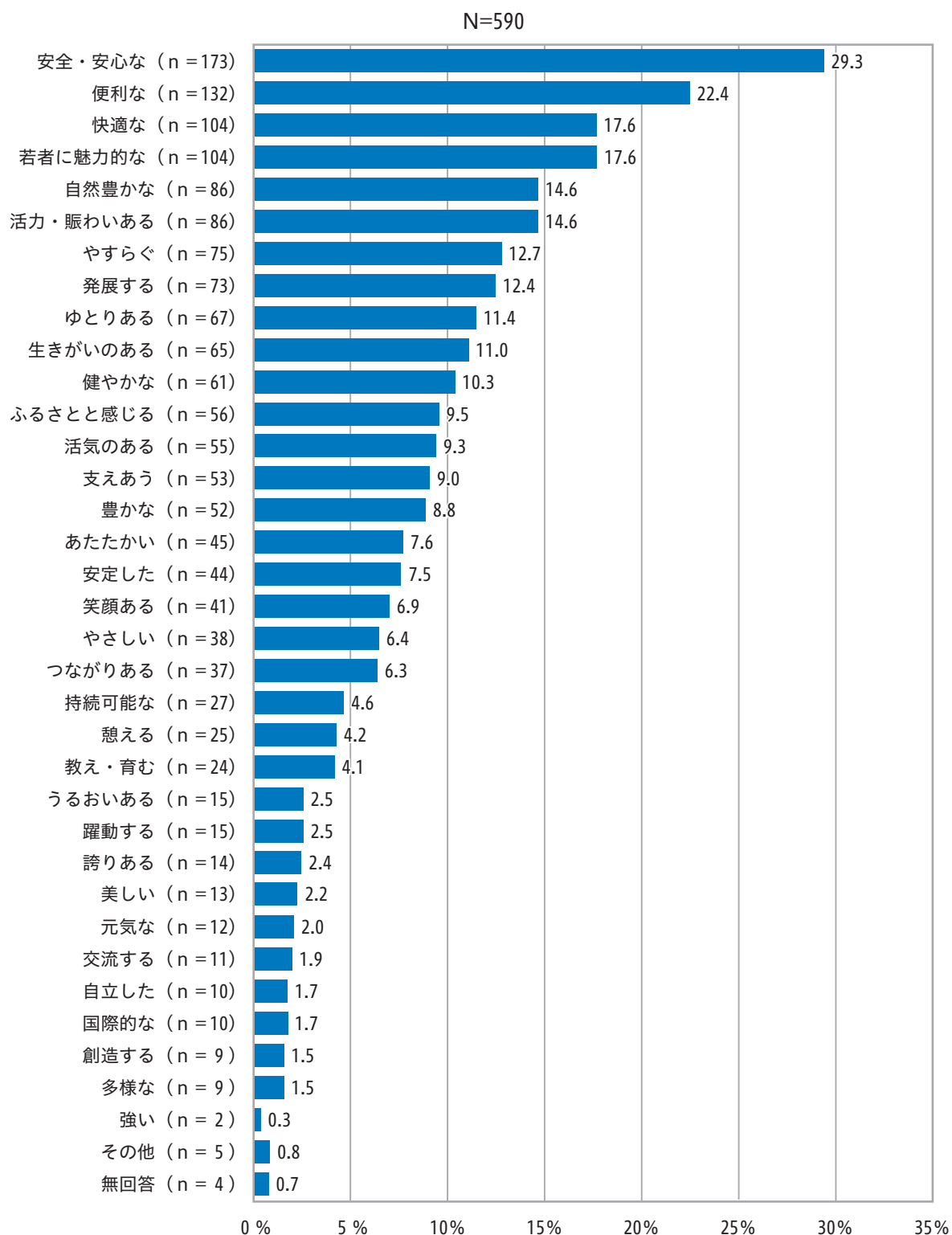
「住み慣れていて愛着があるから」が最も多く、次いで「買い物・飲食など消費生活が便利だから」「緑や自然が豊かだから」となっています。



※Nは当該調査の回収数、nは各選択肢に対する回答数を表しています。

(4) 10年後の甲府市の姿としてふさわしいと思うキーワード (市民調査) ※複数 (3つまで) 回答可

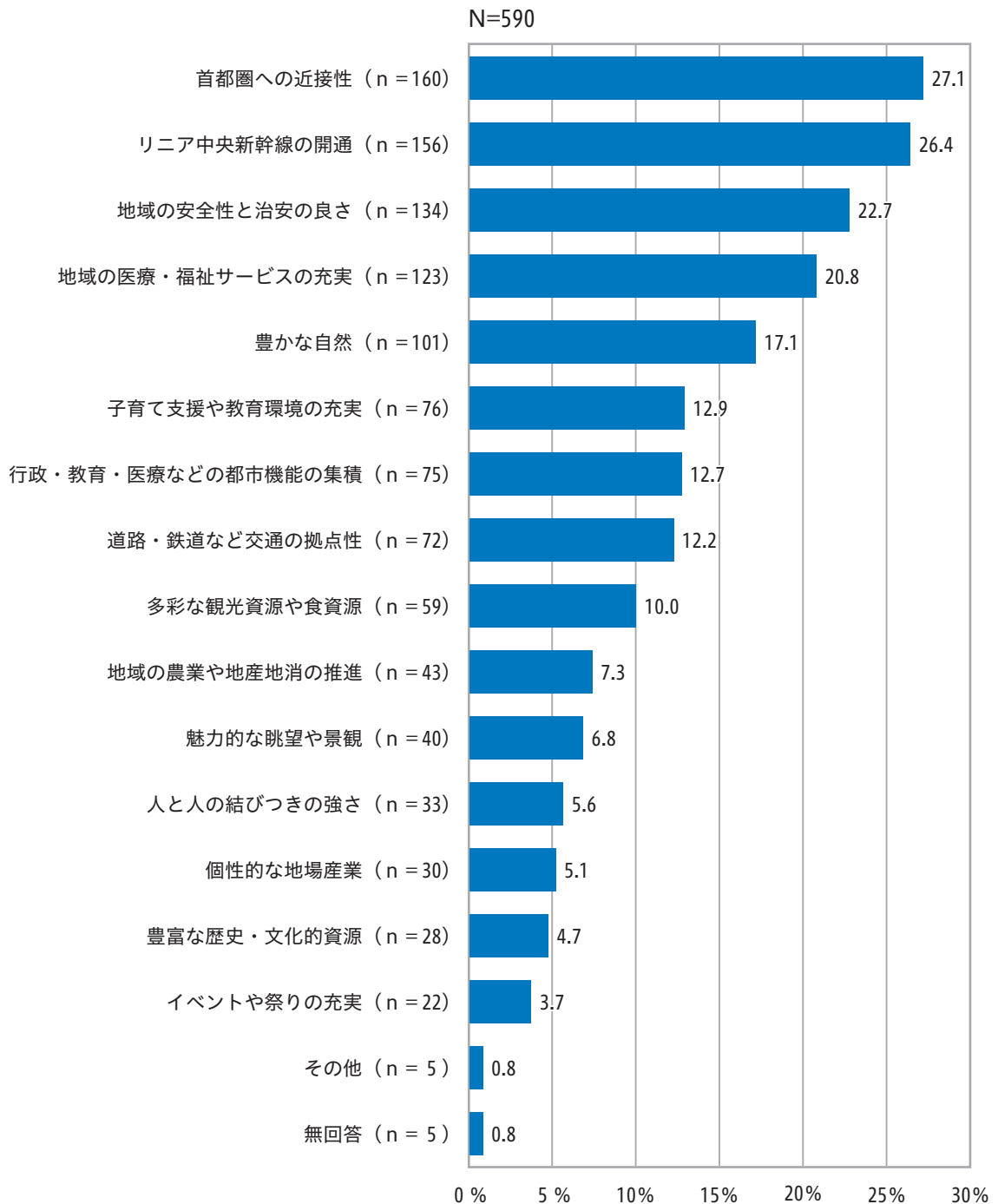
「安全・安心な」が最も多く、次いで「便利な」「快適な」「若者に魅力的な」となっています。



※Nは当該調査の回収数、nは各選択肢に対する回答数を表しています。

(5) 10年後に活かしていきたい甲府市の魅力 (市民調査) ※複数 (2つまで) 回答可

「首都圏への近接性」が最も多く、次いで「リニア中央新幹線の開通」「地域の安全性と治安の良さ」となっています。



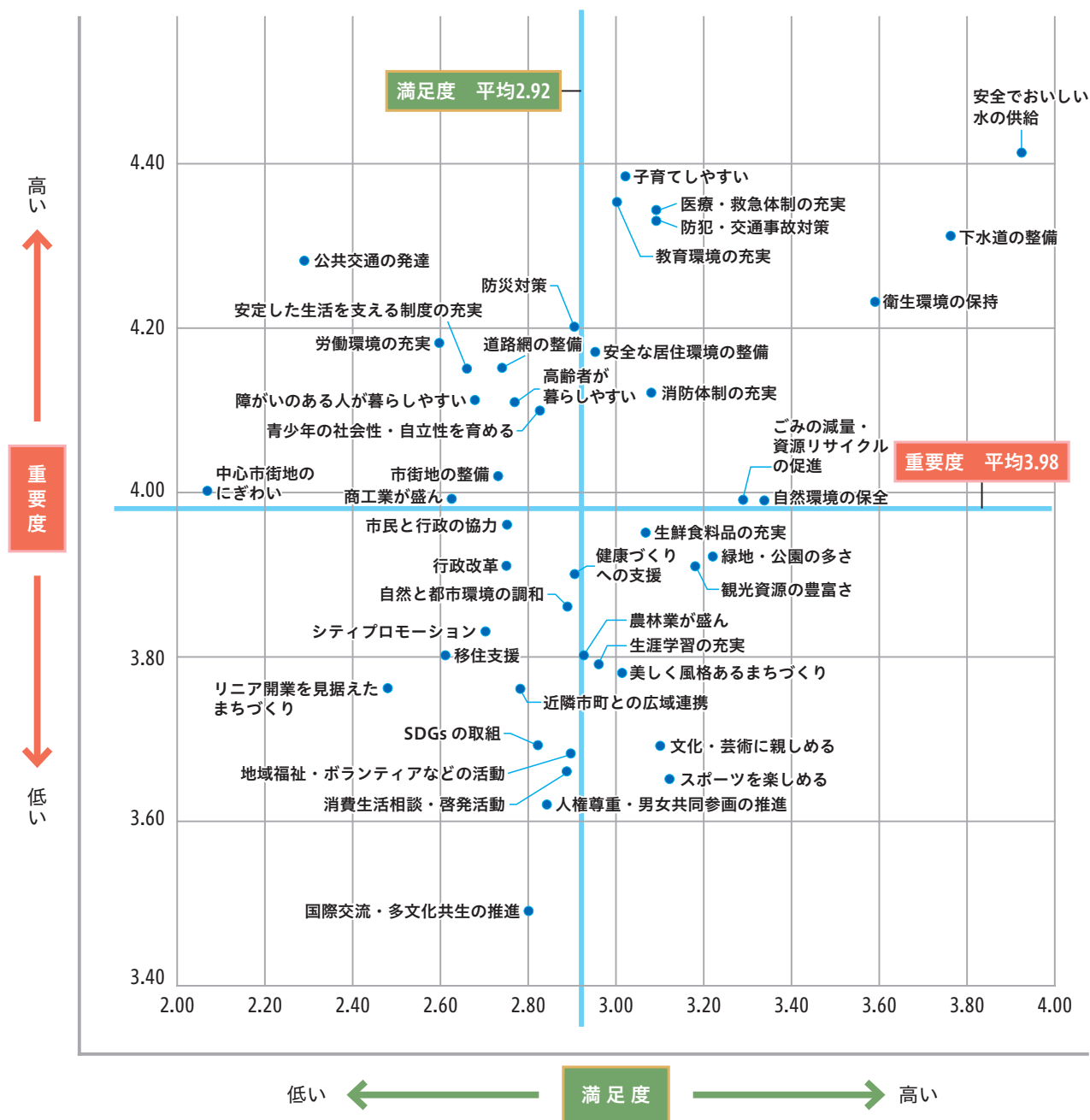
※Nは当該調査の回収数、nは各選択肢に対する回答数を表しています。

(6) 現在の施策の満足度・未来の施策の重要度（市民調査）

各施策の「満足度」と「重要度」を調査し、ポートフォリオ分析を行いました。

「満足度」を横軸、「重要度」を縦軸にとり、各施策の分布状況を示した散布図を4つの領域に分類しています。2本の補助軸は「満足度」の全施策（43項目）の平均値と、「重要度」の全施策（43項目）の平均値を示しています。

【ポートフォリオ分析】



※「満足」・「重要」を5点、「やや満足」・「やや重要」を4点、「普通」を3点、「やや不満」・「やや重要でない」を2点、「不満」・「重要でない」を1点と換算し、施策ごとの合計を有効回答数で除して数値化しました。